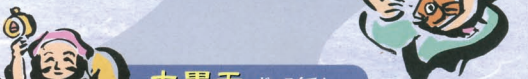


七福神とは？

恵比寿(須) えびす

医業、造酒、漁業、商売繁盛を司るといわれ、「えびす顔」と例えられるように尊顔の神様。唯一の日本生まれの神様です。



大黒天 だいこくてん

大国主命といわれ、有徳、財宝、五穀豊穡の神様。二俵の米俵に立ち糧食を司る神様です。



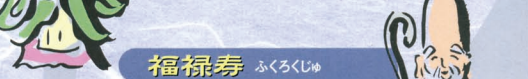
毘沙門天 びしゃもんてん

インドの神様で、多聞天とも呼ばれます。左手に持つ宝塔は福をもたらし、右手の鈴には邪を払う魔除けの力があります。財産と勇気をさずける神様です。



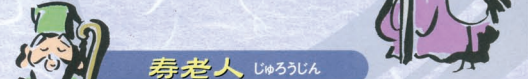
弁財天 べんざいてん

七福神の中で唯一の女神で、インド伝来。愛敬を示し、音楽、弁舌才智、芸術の神様。子孫繁栄や恋愛にも吉をもたらします。



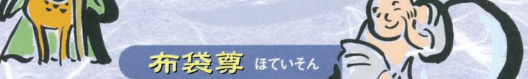
福禄寿 ふくろくじゅ

中国の神様で、中国道教の理想である幸福、俸禄の意味を持ち、長寿や家内安全をもたらす神様。



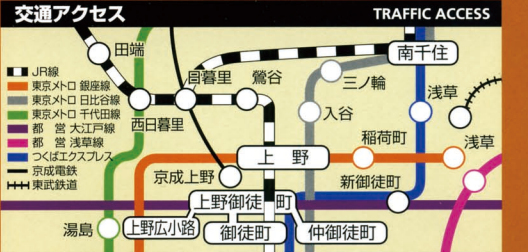
寿老人 じゅうろうじん

不老長寿の神様で、中国の老子の化身の神ともいわれています。諸病平癒の神でもあり、人々の安全と健康を守ります。



布袋尊 ぼていそん

布袋和尚として親まれ、堪忍と和合を教えてくれる中国伝来の神様です。家庭円満に恵まれます。



発行 **台東区観光課** 〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6
TEL.03-5246-1111 (代表)

<http://www.city.taito.tokyo.jp>

協力／台東区観光ボランティアガイド 台東区立書道博物館

R100
道路幅員が100m以上ある道路を指します

神社仏閣の由来・来歴

谷中七福神

福禄寿 **東覚寺(とうかくじ)** ●北田区端2-7-3

東覚寺の創建は室町時代中期(1491)で、門前にある赤紙仁王(あかがみにおう)(石造金剛力士立像)は江戸中に流行していた疫病を鎮めるために宗海(しゅうかい)という僧侶が願主となって寛永18年(1641)に造立されたと伝えられています。この赤紙仁王は、自分の身体に悪いところがあれば、仁王像の同じところに赤紙を貼ると病気が治ると信仰されています。

恵美寿 **青雲寺(せいうんじ)** ●荒川区西日暮里3-6-4

日暮里の地は、江戸時代中頃より「日ぐらしの里」と呼ばれて、四季折々の花樹を楽しむ江戸の人々の行楽地として賑わいました。青雲寺は修性院と共に「花見寺」と呼ばれ、豊かな自然に囲まれて米花を数多く植えた美しい庭園があったといわれています。また、滝沢馬琴(たきざわばきん)筆塚の碑があります。

布袋尊 **修性院(しゅしょういん)** ●荒川区西日暮里3-7-12

修性院は、江戸時代には境内に数多くの草木を植えて「花見寺」の名にふさわしい庭園をつくり、四季の自然を楽しむことができたといわれています。現在の修性院は、本堂に祀られている大きな布袋尊の徳のある姿が有名で、「日ぐらしの布袋」とも呼ばれています。見とれているうちに日が暮れてしまった、という言い伝えです。

毘沙門天 **天王寺(てんのうじ)** ●台東区谷中7-14-8

天王寺は鎌倉時代の創建と言われ、都内有数の古寺です。また、江戸時代には「富くじ」(現在の宝くじ)興行が開催され、目黒の滝泉寺(りゅうせんじ)、湯島天神とともに江戸三富(さんとも)と呼ばれて賑わいました。また、幸田露伴の「五重塔」のモデルとなった天王寺五重塔は昭和32年(1957)7月に焼失してしまいましたが、その跡地は今も谷中霊園の中に残っています。

寿老人 **長安寺(ちょうあんじ)** ●台東区谷中5-2-22

長安寺の歴史は古く、建立は寛文9年(1669)とされていますが、これよりさらに400年前にさかのぼった板碑(いたび) (塔婆の一種)が残されています。また、長安寺には明治初期の日本画家 狩野芳崖(かのうほうがい) (1828-1888)の墓所があります。

大黒天 **護国院(ごこくいん)** ●台東区上野公園10-18

護国院は、天台僧正の弟子 生順が釈迦堂の別当寺として寛永元年(1624)に現在の東京国立博物館右手裏に創立した寺です。こちらの大黒天画像は徳川三代将軍家光公が贈ったものと伝えられています。御前立の大黒天木像は台東区の文化財に指定されています。

弁財天 **不忍弁天堂(しのばずべんてんどう)** ●台東区上野公園2-1

天台僧正は、比叡山延暦寺にいらつて上野の山に寛永寺を創建しました。不忍池は、琵琶湖に見立てられ、竹生島(ちくぶしま)になつて、水谷(みずのや)伊勢守勝隆が池に中ノ島(弁天堂)を築き、さらに竹生島の宝厳寺の大弁才天を勧請し、寛永中期(1630年代)に弁天堂を建立しました。当初、小船を渡して参拝していましたが、後に橋が架けられました。

浅草名所七福神

大黒天 **浅草寺(せんそうじ)** ●台東区浅草2-3-1

浅草寺は、わが国の観音菩薩の代表であり、東京の観光名所として、日本全国・世界各国からたくさんの方々が訪れます。その歴史は大変古いのですが、現在でも庶民に親しまれる信仰と文化の中心地として定着しています。

恵比須 **浅草神社(あさくさじんじや)** ●台東区浅草2-3-1

「三社さま」の名で親しまれている浅草神社は、江戸三大祭の一つである三社祭で有名です。この三社祭の歴史は古く、一説には正和元年(1312)の船宴に始まるといわれていますが、江戸時代に入って徳川三代将軍家光公の社殿ならびに神輿の新たな造営を機に江戸中の一大イベントとなりました。

毘沙門天 **待乳山聖天(まつちやましようてん)** ●台東区浅草7-4-1

本尊には、大聖歡喜天(だいしょうかんぎてん)(十一面観音菩薩)が祀られており、境内各所には大根と巾着がしるされています。大根は人間の迷いの心、願(いかり)の毒を表し、大根を供えて毒を清めるという意味があります。また巾着は商売繁盛を表現したもので、ご利益の大きさを象徴します。

福禄寿 **今戸神社(いまだじんじや)** ●台東区今戸1-5-22

後冷泉天皇康平6年(1063)、時の奥羽鎮守府将軍伊豫守源頼朝・義家父子が、勅命によって奥州の夷賊阿部貞任・宗任の討伐の折、祈願し鎌倉の鶴ヶ丘と浅草今之津(現在の今戸)とに京都の清水八幡を勧請したのが今戸八幡(現在の今戸神社)の創建です。招き猫発祥の地でもあり、この地で十六世紀から焼かれていた今戸焼の始まりともいわれています。

下谷七福神

布袋尊 **寿永寺(じゅえいじ)** ●台東区三ノ輪1-22-15

寿永寺は寛永7年建立で、寿永法尼が徳川二代将軍秀忠公の菩提を葬うため、この地に庵室を営んだことに起源しています。また、放生会という動物慰霊の文を発願し、布袋尊を勧請して祀っています。幸福を授けるという布袋尊は、地域の人々に長く愛されています。

恵比寿 **飛不動尊正宝院(とびふどうそんしょうほういん)** ●台東区泉3-11-11

正宝院は享禄3年(1530)の創建といわれ、「飛不動」の通称で知られています。古くから病魔や災難を「飛ばして」くれると人々に信仰されていたと伝えられていますが、近年では航空安全の守護神として有名になり、空の安全や飛行道中安泰を祈願する参拝客が多く訪れます。

弁財天 **弁天院(べんてんいん)** ●台東区泉1-15-9

弁天院は、水谷(みずのや)伊勢守勝隆が寛永元年(1624)不忍池に弁財天を建立すると同時にその下屋敷であったこの地の邸内の池にも弁財天を祀ったのが由来とされています。上野不忍池の弁財天を西方の夕日、東方の水谷を弁天院と称し、両者は姉妹弁財天とされています。

毘沙門天 **法昌寺(ほうしょうじ)** ●台東区下谷2-10-6

元プロボクサーでコメディアンのだこ八郎さん(1940~1985)の地蔵があることで有名です。無病息災を祈願した「たこ八郎地蔵」は、「めいわかけてあげよう たこ八郎」と文字が刻まれており、発起人である由利徹さん、赤塚不二夫さん、山本晋也さんらの名前も刻まれています。日蓮聖人御開眼の毘沙門様を奉安しています。

大黒天 **英信寺(えいしんじ)** ●台東区下谷2-5-14

こちらの三面大黒天は、創建した当初から安置されていたもので、弘法大師の作と伝えられています。正面に大黒天、向かって右は弁財天、左が毘沙門天、後部は宝珠形光背を付けているユニークで徳のあるご尊像です。

福禄寿 **入谷鬼子母神(いりやきしもじん)** ●台東区下谷1-12-16

鬼子母神は、インド仏教上の女神のひとりです。性質凶暴で子供を奪い取っては食べてしまう悪神だったため、釈迦は鬼子母神の末子を隠し、子を失う悲しみを実感させ改心させました。以後、安産・子育ての守護神として信仰されるようになりました。入谷鬼子母神では、子育ての善神になったという由来からツノのない「鬼」の文字を使っています。

寿老人 **元三島神社(もとみしまじんじや)** ●台東区根岸1-7-11

元三島神社の起源は、弘安の役(蒙古襲来 1281年)にさかのびます。勇将河野通有は蒙古襲来で九州へ出兵、勝利して上野山へ帰り、愛媛県大三島の大山祇神社を上野の山の河野館に勧請したことが始まります。元三島神社は徳川幕府から社領を受けますが、御用地となったために上野から浅草へ移転し、現在の地に至ります。

布袋尊 **橋場不動尊(はしばふどうそん)** ●台東区橋場2-14-19

橋場不動尊は、天平宝字4年(760)、奈良東大寺建立に尽力のあった高僧良弁僧正の第一の高弟寂寂(じゃくじやく)上人によって開創されたと伝えられています。現在の本堂は、弘化2年(1845)建立のもので、江戸時代の建築様式を保ち、美しく簡素なたたずまいを残しています。

寿老人 **石浜神社(いしはまじんじや)** ●荒川区南千住3-28-58

聖武天皇神亀元年(724)9月、勅願によって鎮守され、源頼朝が藤原泰衡討伐の折、祈願して「神風や伊勢の内外の大神を武蔵野のここに宮戸川かな」と詠み、大勝の目的を果たしたので後日、社殿を造営寄進したといわれています。隅田川畔の名所として「隅田名勝八景」「江戸名所図会」「東都歳時記」などにとりあげられています。

寿老人 **鷺神社(おとりじんじや)** ●台東区千束3-18-7

「おとりさま」の愛称で知られ、毎年11月の酉の日に境内で熊手御守を売る店が立ち並び「酉の市」が有名です。ここで売られる熊手御守は一般に「こっこめ」「はこめ」といわれ、福運や財をかさ込むという縁起から開運、殖産、商売繁昌のお守りとされます。この酉の市は、樋口一葉の代表作「たけくらべ」の中にも登場します。

弁財天 **吉原神社(よしはらじんじや)** ●台東区千束3-20-2

吉原神社は、新吉原遊郭に古くから鎮座していた玄德(よしとく)稲荷社と遊郭内各町の守護神であった4つの稲荷が明治5年(1872)に合祀されました。以後、これらを総称して吉原神社と呼ぶようになり、遊郭の総鎮守として崇敬されてきました。

福禄寿 **矢先稲荷神社(やさきいなりじんじや)** ●台東区松が谷2-14-1

寛永19年(1642)、徳川三代将軍家光公が国家の安泰と市民の安全祈願、武道の練成のために、江戸浅草に三十三間堂を建立しました。この堂の守護神として稲荷大明神を勧請し、その場所がようちの先にあったので「矢先稲荷」と名づけられたと伝えられています。

台東ぶらり散歩

七福神めぐり

其の五



中村不折画「七福神嬉遊図」台東区立書道博物館所蔵